

5. 文化教育関係

1) 文化振興関連

(具体的な意見や質問) 【中須賀公民館】

中央公民館のリニューアルについては、多大な公費が投入されると聞いている。
市の財政が厳しい中で、優先順位の高い事業なのか疑問だ。
このほかに、美術館・図書館等の問題もあるが、どのように考えているのか。

(議会として考え方または回答)

国等の補助制度を最大限活用し、市の財政を圧迫しない手法により、事業を実施することが好ましいと考えています。

中央公民館のリニューアルについては、行政（執行部）の提案に対し、全体計画をより明確にすべきとの附帯決議をいたしました。

議会としては、行政（執行部）のチェック機能を強化して、自治体運営の健全化に取り組まなければならないと認識しています。

(別府市の回答及び対応状況) <教育委員会>

中央公民館・市民会館につきましては、昭和3年に建設された県内最古のコンクリート建築物であり、現在も多くの市民の方々に利用されている社会教育施設であります。

今回の改修工事は、利用者の安心・安全を最優先するための耐震補強工事を中心とした内容であり、併せて歴史的建造物を後世に伝えることができる意義深いものであると考えております。

また、美術館・図書館等の問題につきましては、財政状況を勘案の上、検討してまいります。

（具体的な意見や質問） 【扇山公民館】

空き家を利用して、グループホーム等を作ったり、図書館を作ってはどうか。

（議会として考え方や回答）

図書館については、よりよい環境で子供が十二分に利用できる魅力ある場が必要と考えています。

（別府市の回答及び対応状況）＜福祉保健部＞

空き家を利用してのグループホームの設置にあたってはその設備基準の関係から、かなり困難な状況があると判断しております。

空き家を利用しての施設としては小規模多機能型居宅介護施設の設置が適当であると判断していますので、社会福祉法人等のご協力により、その設置可能であれば推進していきたいと考えております。

（別府市の回答及び対応状況）＜教育委員会＞

現在の千代町にある図書館を利用しにくい地域にお住まいの方、障がいなどの理由で来館できない方のために移動図書館車を市内に巡回しておりますので、どうぞご利用ください。

（具体的な意見や質問） 【ふれあい広場・サザンクロス】

現在の図書館に、駐車場がない。

新しい図書館の建設よりも既存の施設をどのように活用するかを検討すべきだ。

現実を直視して、地についての議論を行うべきだ。

（議会として考え方や回答）

このご意見は、議会としても真摯に受け止めさせていただきます。

（別府市の回答及び対応状況）＜教育委員会＞

図書館の駐車場につきましてはこれまでご指摘いただいております。最近ですが、図書館の秋葉通り側の民間駐車場を数台借り上げて来館者の方々にご利用いただいております。今後も、駐車場確保に努めてまいります。

また、今後も、既存の図書館について、蔵書数の増加やイベントの開催など、利用者の方々へのサービス向上に努めていきたいと考えております。

2) 教育関連

(具体的な意見や質問) 【堀田公民館】

児童・学童等の学力の低下が指摘されている。

土曜授業を5日程度行う予定と聞いているが、別府市として、斬新な学力向上に向けた取り組みをしてほしい。

また、学校施設を災害避難場所として、充実を図ってほしい。

(議会として考え方は回答)

土曜授業については、別府市においても、今年度（平成26年度）から施行準備期間として実施いたします。

中学校は、全校で実施いたします。小学校は、亀川小学校等で実施いたします。

来年度（平成27年度）から本格的な実施予定です。

また、各学校施設の耐震化は、終了いたしました。災害備蓄品等の整備も順次行われる予定です。

(別府市の回答及び対応状況) < 教育委員会 >

土曜授業につきましては、年間4～5回程度の実施を考えています。そのなかで、学校、家庭、地域が連携し、役割分担しながら、学校における授業や地域における多様な学習、文化やスポーツ、体験活動等の機会の充実を図ることで、質の高い教育環境づくりに努めたいと考えています。

(別府市の回答及び対応状況) < 企画部 >

災害の避難場所として使用される各小中学校の耐震化は、平成26年度中に終える予定です。

小中学校の体育館を避難所として使用するに当たり、平成24年度・25年度の二か年で学校施設内に災害用備蓄品の配置を行いました。

（具体的な意見や質問） 【野口ふれあい交流センター】

青山小学校新校舎等建設事業は、どのような内容なのか。

現在の進捗状況はどうなっているのか。

学校統廃合に伴い、校区の見直しはどうなっているのか。（旧野口小学校区で青山小学校が近い地域も存在している。）

別府中央小学校の統廃合の時に、議員個人は見直すべきとの意見があったが、結果を見ると見直しが行われなかった。

議会や行政（執行部）に対して、不信感を感じる。

（議会として考え方または回答）

青山小学校は、平成28年度の開校に向けて、新校舎の建設・通学路・学校名等を協議していくこととなっています。

校区の見直しについては、具体的な話として、教育委員会から議会に対して無いものと認識しています。

しかし、海岸線沿いの小学校（別府中央小学校等）は、津波等の災害対策が問題点として、議論された経緯もあります。

行政や教育委員会まかせではなく、議会もこの問題に、積極的に取り組んでいく必要があると考えています。

（別府市の回答及び対応状況） <教育委員会>

青山小学校と西小学校の統合校は、校地を青山小学校とし、平成28年度の開校に向けて準備を行っております。統合小学校は、現在の青山小学校の管理棟、体育館、グラウンドなどはそのまま活用し、社会福祉会館南側の新日鐵跡地保養所西側に新校舎を建設します。新校舎と旧校舎の間は連絡通路でつなぎ、児童の安全を確保します。

校区の見直しにつきましては、今後、通学区審議会等において検討を進めていく予定です。

（具体的な意見や質問） 【野口ふれあい交流センター】

別府中央小学校の統廃合時に、災害等に対する議論がなされたはずだ。

その場限りの議論ではなく、議会も責任をもって、議決をすべきだ。

津波等の災害で、中央小学校が危険な状態であるならば、その点を考慮して、学校統廃合を進めるべきだ。

（議会として考え方は回答）

別府中央小学校だけでなく、市内全体を考えなければならないと認識しています。

学校に対する国の示す津波対策が策定中（高台移転等）ですので、今後議論が加速するものと認識しています。

また、学校区の見直し等については、教育委員会に意見としてお伝えいたします。

（別府市の回答及び対応状況）＜教育委員会＞

津波等の災害への対応につきましては、市内全体の枠組みのなかで考えなければならないと認識しています。今後は、国の方針等を見据えながら、学校統合や学校の設置場所等につきまして検討していきます。

（具体的な意見や質問） 【扇山公民館】

学校の統廃合は止めて、30人以下の学級を増やしてほしい。

生徒が増えると、授業が騒がしくて話が聞こえない。

生徒数が減少すれば、静かな環境で授業ができるのではないか。

教室にエアコンを設置して、より良い環境を作してほしい。

また、現在の図書館は、距離が遠いので、地区の近くに図書館を作してほしい。

（議会として考え方は回答）

ご意見として、教育委員会にお伝えいたします。

（別府市の回答及び対応状況）＜教育委員会＞

学級の編成につきましては国・県の基準で定められており、現在は小学校1、2年生と中学校1年生において30人以下の学級が実現しています。1学級が30人以下の対象学年が更に拡大されるよう、今後も引き続き関係機関にはたらきかけていきます。

教室のエアコン設置につきましては、教室の室温調査を実施し、その結果を踏まえながら、検討していきたいと考えております。

図書館につきましては、市内を巡回しております移動図書館車をご利用ください。

（具体的な意見や質問） 【ふれあい広場・サザンクロス】

放課後児童クラブの敷地が狭い。

雨の日は、広場がぬかるんでいるので、一度状況を見てほしい。

（議会として考え方は回答）

ご意見として、行政（執行部）にお伝えいたします。

（別府市の回答及び対応状況）<福祉保健部>

貴重なご意見ありがとうございます。

クラブ敷地につきましては、学校内や市有地等の限られた敷地を活用し整備しておりますので充分満足のいく敷地を確保できていない状況でございます。ご不便をおかけし大変申し訳無く感じているところではございますが、何卒ご理解の程お願いいたします。

ただ、敷地外等の利用につきましては、関係各課に働きかけたいと存じます。

雨の日のぬかるみの状況につきましては存知上げております。場所により多少の差はありますが、どこの児童クラブも同様な状態です。こちらもご不便をおかけして大変恐縮ではございますが、何卒ご理解の程お願いいたします。

（具体的な意見や質問） 【風呂本・御幸公民館】

先生の仕事量が多い。

生徒との「ふれあい（交流）」に、時間をかけるべきだ。

先生の負担を軽減するために人員を増やすべきだ。

教育費により予算をかけるべきと考える。

（議会として考え方は回答）

先生の事務を軽減して、子供のための教育に集中できるように改善すべきと認識しています。

中学校における図書館司書は、各校1名の配置となりました。

また、「いきいきプラン」で、先生も増やすこともできましたが、まだ十分ではないと考えています。

（別府市の回答及び対応状況）<教育委員会>

教員の多忙化につきましては、例えば事務的調査であればより簡潔なものにしたり、会議や研修については実施回数・内容や構成を工夫して時間を短くするなどして、教員が子どもたちと向き合うことのできる時間をできるだけ確保できるよう努めていきます。

また、人員配置についてですが、図書館司書や「いきいきプラン」支援員、スクールサポーターなど多くの人員を配置することは、教員を始め多くの大人が子どもたちの健全な成長を見守ることに繋がると考えておりますので、関係各課と更に協議を続けていきます。